



子宮頸がんは予防できる！

【人間ドック科 大沼主任医長】

子宮頸がんの原因の 95%は、ヒトパピローマウイルス(HPV)感染です。日本では、20～40 代で、がんを発症する人が多く、妊娠・出産の時期と重なるため、子宮全摘出など妊娠・出産ができなくなる治療が必要になる前に、がんを見つけることが重要です。

性交渉を経験した人の 8 割が HPV に感染し、そのうち 2 年以上感染が続いている人(感染者の 16 人中 1 人)の一部が、数年～数十年(平均 10 年)後、子宮頸がんを発症します。HPV は 200 以上の型があり、そのうち 15 種類程度が子宮頸がんになるリスクが高いと言われています(高リスク HPV)。

<HPV ワクチン>

現在、高リスク型 7 種、低リスク型 2 種(尖圭コンジローマ用)の計 9 種を含むワクチンが主に使用されています。定期接種の対象は、小 6～高 1(推奨は中 1)女子ですが、初めて性交渉をする前に接種できれば最も効果が上がります。性交渉経験者にも接種できますが、まだ感染していない型に対してのみ有効なので、効果は未経験者の 1/2～1/3 になります。また、既に感染した HPV をワクチンで排除することはできません。

<子宮頸がん検診>

市町村が行うがん検診や人間ドックなどで行われ、子宮頸部の細胞を採取し、がんや前がん病変の有無を調べます。問題がなくても 2 年に 1 回の受検が推奨されています。

<日本における発症年齢の若年化と罹患率の増加>

日本では、40 年前と比べると子宮頸がんの発症年齢が若年化しており、罹患率も先進国の中で唯一増加しています。理由としては以下が考えられます。

- ① HPV 感染年齢(性交渉開始年齢)が若くなった
- ② HPV ワクチン接種率が低い: 高 1 女子の累積初回接種率は 50.5%(2025 年 9 月時点)、欧州諸国は 70～90%以上(2025 年)、男女とも接種対象の国あり
- ③ 若年女性の検診受検率が低い: 日本 43.6%(2 年以内、2022 年)、欧州諸国は 70～90%以上(2025 年)
- ④ 前がん病変やがんへの進行速度が比較的速い HPV16・18 型が日本人(20～30 代)の子宮頸がん患者の 82.5%で検出されていること

<日本のワクチン接種の現状>

HPV ワクチンが定期接種開始となった 2013 年 4 月直後から接種後の多彩な症状の報告が相次ぎ、同年 6 月にワクチン接種を積極的に勧めることを差し控えるという事態に陥りました。その後の調査の結果、ワクチンの安全性が確認され 2022 年 4 月から接種を勧めることを再開しました。このために、ワクチンを受けていない人が多い世代が生まれ、再開後の世代の接種率も差し控え前まで回復していないのが現状です。

子宮頸がんは、HPV ワクチンで感染を予防し、ワクチン接種後も子宮頸がん検診を 20 歳から受け続け、早期発見することで「発症を予防できるがん」です。右表を参考にワクチン・検診を受け、子宮頸がんの発症を未然に防ぎましょう。

誕生年度 (今年度の年齢)	特徴	ワクチン	子宮頸がん検診
～1993年度 (32歳以上)	ワクチン未接種 HPV既感染の可能性大	△	◎
1994-1997年度 (28～31歳)	ワクチン公費助成開始 接種率は7割強	△	◎
1997-2007年度 (19～28歳)	接種勧奨控え →キャッチアップ接種実施 接種率にばらつきあり	○	◎ (20歳～)
2008年度～ (18歳以下)	接種勧奨再開 以前の接種率まで戻らず	◎	◎ (20歳～)

◎推奨、○未接種者、特に20代前半までは推奨、△効果は限定的



レントゲン検査の“なんで”？



皆さんは、病院に来てレントゲンを撮影する際、

『なんで着替えが必要なの？』『なんで息止めをするの？』

と疑問に思ったことはありませんか？その理由についてご説明します。

！なぜ着替えが必要なの？

その理由は、医師の診断の妨げになる（障害）陰影を無くすためです。例えば、ネックレスやベルトなどの金属、衣類のボタンやプリントなどはレントゲン写真に写り込み障害陰影になります。また、衣類や装飾品の他にも、湿布やホッカイロも写り込みます。痛み等によりお着替えが難しい場合はお手伝いしますので、お声がけください。



！なぜ息止めをするの？

こちらの理由は2つあります。



1つ目は診断に必要な範囲を広く見えるようにするためです。例えば、胸部のレントゲンでは大きく息を吸った分だけ肺が広がるため、より広い範囲を観察することができますようになります。

反対に、腹部のレントゲンでは息を吐くことで肺が小さくなり横隔膜が上がるため、より腹部を広く観察できるようになります。

2つ目は、呼吸の動きによるブレを防ぐためです。特に、呼吸により影響がある体幹部の撮影では、息を止めていただきます。



正確でスムーズな検査を行うためには患者のみなさんのご協力も必要になりますが、引き続き安全で安心な検査の提供に向け努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

【放射線科 高橋副主任医療技師】



JR 仙台病院

LINE 公式アカウント始めました！

この度、JR 仙台病院では病院を身近に感じていただくため、LINE 公式アカウントを開設いたしました。

院内の取組みやイベントなどを定期的に発信していく予定ですのでぜひご登録お願いいたします。

友だち登録の特典として院内 Wi-Fi を無料でご利用いただけます。

※なお、すでに院内 Wi-Fi をご使用の方はこれまでどおり

ご利用いただけます。



皆さま、ぜひこの機会にご登録をお願いいたします！



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。